

投票しよう！ 県民提案予算



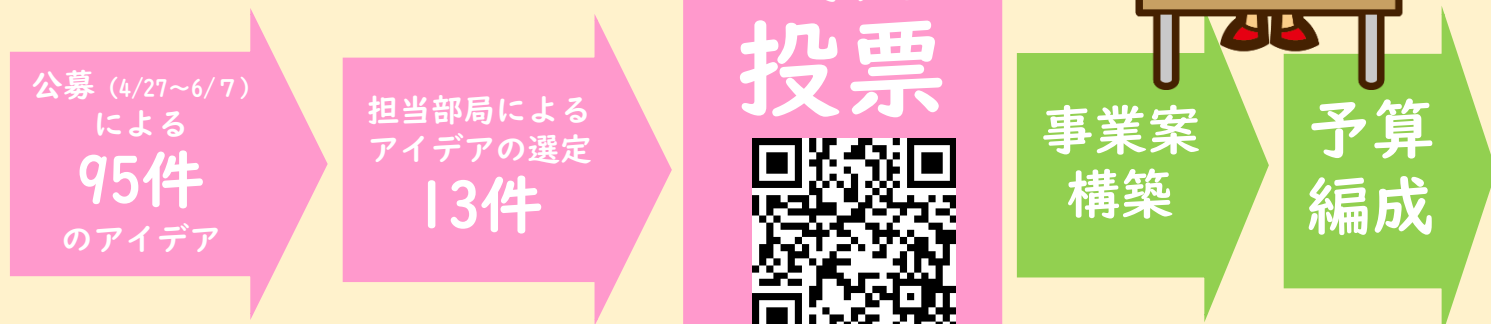
投票期間 令和8年7月13日（月）から同年8月16日（日）まで

投票資格 三重県内にお住いの満15歳（高校1年生に相当する年齢）以上の方
※ただし、三重県職員、三重県議会議員及び暴力団関係者は投票できません。

投票回数 お一人あたり1回
※1回の投票で、3つのアイデアまで選ぶことができます。

「県民提案予算」とは

県民の皆さんから公募したアイデアを選定のうへ、今回行う投票の結果をふまえ、来年度の予算に反映させる取り組みです。



詳細は県HPをご覧ください

<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0007900216.htm>

投票はこちらから（投票フォームのリンク）

【電子メールでの投票の場合】

①お名前、②ご住所・年齢、③お選びいただいたアイデア番号（3つのアイデアまでお選びください）以上を記載のうへ、下記送付先までメールを送信してください。

《送付先》

メールアドレス：zaisei@pref.mie.lg.jp（三重県 総務部財政課 予算班 宛て）

【お問い合わせ】

三重県 総務部財政課 予算班

TEL:059-224-2216、FAX:059-224-2125、メールアドレス：zaisei@pref.mie.lg.jp

※応募の際に入力いただいた個人情報は、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に取り扱い、本事業に関連するご連絡及びご案内にのみ使用し、その他の目的・用途で使用することはありません。

No	アイデア名	現状の課題	アイデアの概要
1	県民の郷土愛を育む三重県偉人再認識事業	社会減による人口減少などを食い止めるために、地域の一体感を醸成していくことは重要です。 令和8年度に三重県誕生150周年記念事業を実施し、記念事業を通じて高まった地域への思いや郷土への愛着を一層醸成、根付かせていく必要があります。	150周年記念事業のレガシーとして、現在の三重県が先人達の努力により成り立っていることを再認識し、地域への思いや郷土への愛着を一層醸成することを目的に、三重県誕生150周年HPにおいて三重県ゆかりの偉人を紹介します。
2	みえのスポーツひろば(仮称)	三重県のスポーツ実施率は全国平均と比較して低い状況が続いていることから、県にゆかりのあるチーム・アスリートとの交流や競技の体験機会を通じ、県民がスポーツに親しみ実施するきっかけにするとともに、スポーツを通じた地域の活性化につなげる必要があります。	チーム・アスリートとの交流を通じて数多くの競技に子どもや親子でふれ親しむ機会をつくることで、県民のスポーツ実施率の向上につなげるとともに、イベントを通じた地域の活性化に資する事業を行います。
3	みんなでつくる地域のつながり ～安全・安心な共生社会に向けて～	外国人住民の中には、日本語が十分できないことや地域とのつながりの不足により、日常生活でさまざまな困り事を抱えるなど、生活するうえで不安を感じ、また、地域社会への参画を躊躇する方がいるため、地域での交流を契機に、生活面での不安解消を図っていく必要があります。	言語レベルを問わず日本人住民とコミュニケーションがとれるスポーツ等を通じて、交流のきっかけを設けることにより、日本語学習の意欲を向上させ、生活に必要なルールへの理解を深めつつ、防災活動等の地域づくりを地域の日本人住民や支援者等と共に担っていく取組を促進します。
4	子ども性暴力未然防止プロジェクト	子どもの性被害を根絶するためには、周囲の大人が性暴力の予防に関して正しい知識を持ち、子どもに対する適切な教育や啓発を行うことが重要です。 また、人権の観点から「性と人権」について学ぶ機会が不可欠となっています。	「SNSの安全な利用方法」など性暴力被害を予防すること、また、万一被害にあったときに必要な知識を子どもだけでなく周囲の大人も得ることができる取組を推進するとともに、性と人権に関する取組事例を収集し、子ども向けの学習資料作成・配付及びモデル授業を実施するための事業を行います。
5	犯罪被害者等支援従事者資質向上プロジェクト	犯罪被害者等支援に従事する方が被害者に寄り添った支援を行うためには、被害者のニーズを把握し、ニーズに応じた支援を提案できることが重要であり、そのためには、支援に関する幅広い知識や技能が必要です。 一方、市町等における支援従事者は他の職務と兼務していることや人事異動などもあり、専門的な知識や技能の習得や継承が課題となっています。	誰が、いつ犯罪被害者等支援に従事することになっても、必要な支援がすぐに提供できるよう、マニュアル等を活用し、支援に関する知識や技能について理解を深められる取組を進めることにより犯罪被害者等支援従事者の資質向上を図ります。
6	みえグローバル・テーブル!多国籍レシピで県産食材の魅力発信事業	外国人住民が増え、各国の郷土料理やその食材を扱う店舗も増加していますが、母国の料理で使用する食材の入手が困難となっています。	外国人住民の食の課題を解決するため、学生や企業、飲食店との連携により、代替食材となる新たな県産農林水産物の活用方法の提案及び魅力を発信するための事業を行います。
7	みえの食卓アップデート!「日常に溶け込む大人の食育」推進事業	県の調査では働く世代(主に20～30代)の県産農林水産物や食生活への関心が低い現状があり、その背景には「知る機会・触れる機会が日常にない」といった本質的な課題があります。	働く世代の県産農林水産物や食への関心を高めるため、県内企業等との連携による「日常に溶け込む大人の食育」推進事業を行います。
8	現代版お伊勢参りによる「三重県」の知名度向上	お伊勢参りの歴史が育んだ「餅街道」など、三重には魅力的な食資源が豊富にあるものの、全国的な知名度は伸びしろがあります。また、来県者の滞在期間が短いことも課題であり、食をフックに首都圏での認知度を高めるとともに、県内への誘客と周遊を促す必要があります。	お伊勢参りの出発点である日本橋に位置する「三重テラス」を拠点として、お伊勢参りを中心に街道沿いで人気を博した三重県産品等の販路拡大と知名度向上を図ります。また式年遷宮を見据え、改めて「餅街道」などの食文化にスポットを当て、食を切り口に県内各エリアの観光地をつなぐことで、首都圏から三重への誘客と、県内での滞在性、周遊性を促進します。
9	ダイセーフォレストパークの魅力度向上事業	ダイセーフォレストパークには、みえ応援ポケモンの「ミジューマル」をモチーフにした公園「ミジューマル公園 in すずか」や世界的な人気コンテンツであるF1会場(鈴鹿サーキット)が近くにありますが、誘客面でのポテンシャルを十分に生かしきれていないことが課題となっています。	ダイセーフォレストパークのもつポテンシャルを最大限生かし、国内外問わず多くの方がパークに立ち寄りたくするような、癒し・食・遊びの仕掛けを行い、パークの魅力アップを図ります。
10	笑いで特殊詐欺被害防止	令和7年中の三重県内における特殊詐欺被害は851件で過去最多となっています。若年層にも被害が広がっており、「高齢者が被害に遭う犯罪」というイメージを払拭し、全ての県民が特殊詐欺を自分事として捉え、対策を講じる必要があります。	主に若年層に対し特殊詐欺被害防止を呼び掛けるため、三重県にゆかりのあるお笑い芸人を起用した広報啓発事業を行います。
11	サイバー犯罪疑似体験プログラムによる広報啓発事業	県内企業がランサムウェアの被害に遭うほか、フィッシングによる不正送金や証券口座に係る不正取引が多発するなど、サイバー空間を取り巻く情勢は深刻化しています。	ランサムウェアやフィッシング等の手口を疑似体験できるサイトを活用し、県民や事業者の危機意識を高め、被害の未然防止や自主的なセキュリティ対策の実践につなげる広報啓発事業を行います。
12	「絆で守る」高齢者のヘルメット着用促進事業	交通事故死者の約6割が高齢者です。また、自転車乗用中死傷者のうち、特に高齢者のヘルメット着用率が低く(R7年15.9%)、もしもの際の被害を軽減するため、高齢者が進んでヘルメットを着用することが大切です。	高齢者の家族等を対象とした「ヘルメット着用促進ポスター(イラスト)コンクール」を開催し、参加者が作成した作品をシール化してヘルメットに貼付し、関係する高齢者に贈呈。また、優秀作品の表彰式を開催します。
13	悪質・危険な運転の根絶に向けた「疑似体験型交通安全プログラム」事業	飲酒運転や「ながらスマホ」等の悪質・危険な行為は、重大な交通事故に直結する故意犯罪です。全ての運転者が「自分は大丈夫」と軽く考えてしまうことがないよう、交通ルールを守る意識を持続することが大切です。	現在運用中の交通安全VR表示機器に、悪質・危険な違反に起因する交通事故の危険性を疑似体験できるソフトを新たに導入し、多くの運転者に疑似体験してもらうことで、安全(模範)運転の継続につなげます。